

# こんぶくろ池通信

NPO 法人こんぶくろ池自然の森  
Tel: 04-7132-8800  
Fax: 04-7132-8806  
Email: info@konbukuroike.com  
URL: <http://www.konbukuroike.com>

2025年1月

第129号

## 主な予定

## 鳥の鳴き声に導かれて

中川 恵美

2月17日(月)

10:00~12:00

アドバイザー会議

於：柏区画整理事務所

3月13日(木)

10:30~12:00

まちづくりシンポジウム

於：ロイヤルパインズホテル千葉

2023年2月から鳥の調査に参加し始めて、まもなく2年になります。きっかけは、外出を控える日々の中、外から聞こえてきた鳥の鳴き声。「この鳥の名前を知りたい」という純粋な好奇心からでした。それまで鳥といえば、スズメとカラスくらいしか知らなかった私にとって、鳥の世界は未知の領域。大分で山暮らしをしていた祖父の家にあったキジの剥製や鳥の鳴き声のテープも、私が鳥に興味を持った理由の一つかもしれません。

### 鳥の調査活動

鳥の調査活動は、毎月第三火曜日(7~9月は休み)に行っています。集まるメンバーは40代から80代の6名前後。朝9時に管理棟前に集合し、途中、一号近隣公園のトイレ前のベンチで休憩を挟み、12時前に解散する、約3時間の活動です。

まず管理棟をスタートし、国立がん研究センター方面へ向かいます。がんセンター裏手の野馬土手沿いを歩き、掩体壕エリアの間の道路を進みます。そこから旧ホテル跡地の林縁を通り、一号近隣公園へと向かいます。一号近隣公園を一周した後は、こんぶくろ池エリアに戻り、弁天流れを通って管理棟へ戻ります。最後に藤棚の下のテーブルで、その日どんな鳥を見たかをみんなで報告し合う「鳥合わせ」を行います。

9時に集まったメンバーで、「さあ、行きましょうか」と歩き出します。途中、植物談義に花が咲いたり、カメラを持ったバードウォッチャーの方と話したりして、ゆったりとした楽しい時間を過ごします。

鳥が動くと、見つけた人が立ち止まり、双眼鏡を向けます。「あそこに止まりましたね」「どの辺りですか?」「あの白っぽい三つ又に分かれた木の下の方です」などと声を掛け合います。目印になるものが少ないため、説明する方も探す方も一苦労です。そうしてようやく双眼鏡の中に野鳥を捉えられたら、できるだけじっくりと観察します。シルエット、大きさ、くちばしの形、羽の色などを確認し、ポケット版の図鑑を取り出して、記憶が新しいうちに照らし合わせます。「全体的に灰色がかかった茶色で、羽に白い斑があり、腹部が薄いオレンジ色をしているのはメスのジョウビタキだ」というように、実際の鳥と図鑑を見比べながら覚えていきます。



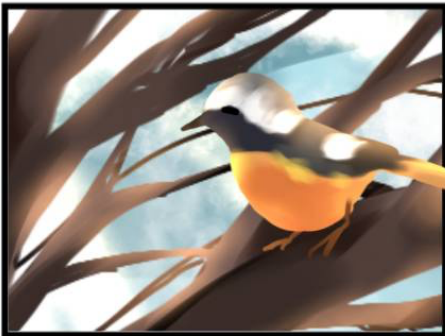
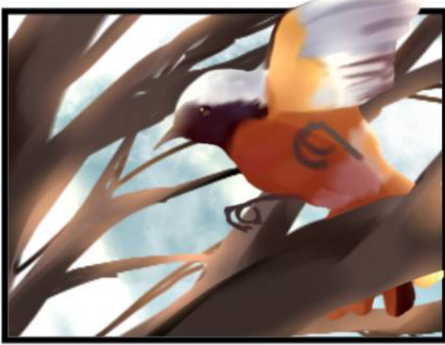
ジョウビタキのメス



ふじ池のカワセミ

複数人で観察することで、一人では見つけられない多くの鳥を発見できるのも、この活動の魅力です。多くの目で鳥を捉えられるのはもちろんのこと、「この間、そこの電信柱の上でチョウゲンボウを見ました」「そろそろやって来てもいいツグミが今年はまだ来ていません」「ジョウビタキはもうあそこにいました」など、情報交換も盛んです。

## この鳥なーんだ



中川 春風

## 私の野鳥観察

私は演劇鑑賞のために購入した双眼鏡を手に、右も左も分からないまま鳥の調査活動に参加し始めました。左目のピントから合わせ、次に調節リングで右目を合わせ、最後に両目で見た像が一つに重なるように目幅を合わせるといふ双眼鏡の使い方を、ここで教えてもらったのも大切な経験です。そうして初めて観察できた鳥はモズ。目の横の黒いラインがはっきりとした、凛々しいオスだったことをよく覚えています。

鳥によって習性が異なることも教えていただきました。電線や木の梢にいるホオジロやモズ、地面を歩いて虫を食べるツグミ、藪の中から現れるアオジ、空中で美しくさえずりながら高く舞い上がるヒバリ。「混群」と呼ばれる多種の群れをシジュウカラ、メジロ、エナガが作ることも、実際に群れを見ながら知ることができました。「ギャーギャー」と鳴いているのはカケス、大きな鳴き声は聞こえるのに姿をなかなか見せないコジュケイ、よく飛来するというけれどまだじっくり観察したことのないオオタカ。青いルリビタキ、オレンジ色のジョウビタキなどの、話に聞いていた鮮やかなオスの渡り鳥を実際に見られたことも印象深い出来事です。そして、一号近隣公園のふじ池で見たカワセミの親子の、水面に反射したコバルトブルーがとても美しかったこと。思い出せばきりがありません。

木々の葉が落ちたこれからは、野鳥観察に最適な季節です。今年はどんな鳥に出会えるか楽しみにしながら、私の目標である鳴き声で鳥の種類を識別できるようになることを目指し、まずは解説付きの動画を YouTube で見て勉強していきたいと思っています。



モズのオス

こんぶくろ池 鳥の調査記録

NPO法人こんぶくろ池自然の森  
2023年1月～2023年12月  
毎月第3火曜日 9:00～12:00

	2023年											
月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
日	17	21	21	18	16	20	夏	夏	夏	17	21	19
天候	曇り	晴	晴	21	晴	曇り	休	休	休	晴	晴	晴
参加人数	6	8	7	7	8	6	み	み	み	6	6	6

No	科	種名	2023年																				
			1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12									
1	ハタオリドリ	スズメ	○	○	○	○	○	○	○	○	●	●	●	●	●	●	●	●	●				
2	モズ	モズ	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	●	●	●	●	●	●	●				
3	カラス	カケス	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○				
4		ハシブトガラス	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○				
5		ハシボソガラス	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○				
6	シジュウカラ	シジュウカラ	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○				
7		ヤマガラス	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○				
8	ヒバリ	ヒバリ	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○				
9	ツバメ	ツバメ	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○				
10	ヒヨドリ	ヒヨドリ	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○				
11	ウグイス	ウグイス	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○				
12	エナガ	エナガ	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○				
13	ムクドリ	ムクドリ	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○				
14	ツグミ	ツグミ	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○				
15		シロハラ	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○				
16	ヒタキ	キビタキ			○	○																	
17		コサメビタキ			○																		
18		エゾビタキ			○																		
19		ルリビタキ																					
20		イソヒヨドリ																					
21		ジョウビタキ	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○				
22	セキレイ	ハクセキレイ	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○				
23		セグロセキレイ		○																			
24		タヒバリ																					
25		ピンズイ																					
26	アトリ	アトリ			○	○																	
27		カワラヒワ	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○				
28		シメ	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○			
29		イカル				○																	
30		ベニマシコ																					
31	ホオジロ	ホオジロ	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○				
32		カンラダカ	○	○			○	○															
33		アオジ		○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○			
34		クロジ																					
35	キツツキ	コゲラ	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○				
36		アカゲラ		○		○	○		○														
37	キジ	コジュケイ	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○				
38		キジ		○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○				
39	ハト	ドバト		○																			
40		キジバト	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○				
41		カルガモ	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○				
42	カモ	ハシビロガモ					○	○															
43		マガモ						○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○				
44		コガモ																					
45	サギ	アオサギ	○	○		○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○				
46		コサギ							○														
47		ダイサギ																					
48	メジロ	メジロ	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○				
49	ウ	カワウ		○		○																	
50	タカ	トビ																					
51		オオタカ	○		○																		
52		ノスリ																					
53	カワセミ	カワセミ																					
54	クイナ	クイナ																					
55	チドリ	コチドリ																					
56	カッコウ	ツツドリ																					
合計(種)			27	29	25	30	33	33	28	32	34	16	15	21	15	19	16	—	—	—	13	19	18

## 短歌や俳句を趣味にしませんか！

松田 和生

某テレビ局の番組で、長生きの秘訣を紹介していました。いくつかあるのですが、その中で、健康第一で趣味や生きがいを持ち、充実した日々を楽しく過ごすことが大切だそうです。

ところで、私は、自然の森で皆さんといっしょに作業するのが楽しみで短歌の創作が趣味です。NPOの機関紙「こんぶくろ池通信」では春夏秋冬季節ごとに会員の皆さんや一般市民から寄せられた俳句や短歌で紙上「こんぶくろ句会・歌会」を開催しています。初めての方や馴染みの方まで数多くの作品が寄せられ皆さんを楽しませてくれます。短歌や俳句を趣味にしませんか！

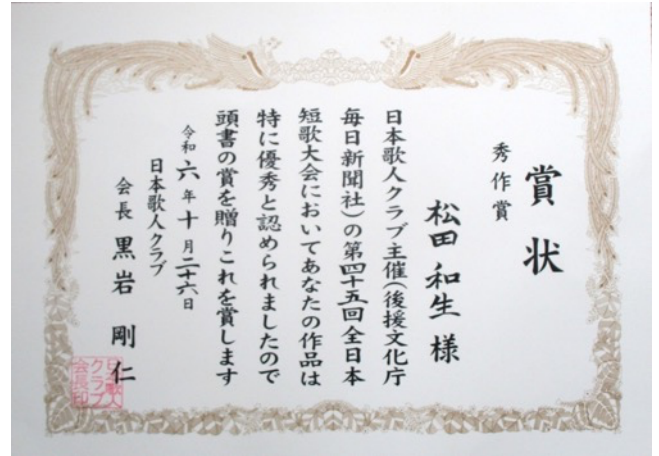
さて、私は昨年10月に明治神宮参集殿で開催された日本歌人クラブ主催（後援文化庁・毎日新聞社）の第45回全日本短歌大会に参加し秀作賞を受賞しました。第43回大会で優良賞をいただきましたが、新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため一堂に会することは叶いませんでしたので、今回は特に印象深い大会となりました。以下第45回大会での受賞短歌です。

### 残雪をワルツのリズムで踏み分ける彼女のスカート春風を呼ぶ

選者から「浮き浮きするようなワルツのリズムで残雪を避けながら彼女がやってくる。その彼女のスカートがあたかも春風を呼んでいるようだ。この歌は現代の『早春賦』とも言える。」との講評をいただきました。明治神宮には国外からの参拝者や七五三の参拝者も数多くみられました。



私は、世話人として「こんぶくろ句会・歌会」の事務処理に携わっていますが、事務所前の投稿箱の他、世話人あてのメールやメモでも結構ですので俳句や短歌を投稿して下さい。応募をお持ちしています。



## 12月理事会

- (日時) 2024年12月28日(土) 10:00~12:30  
 (場所) 管理棟  
 (出席者) 議長(理事長): 萩原  
 出席者(理事) 上田・中川(書記)  
 (監事) 松田・(顧問) 岡本

### 1. 審議検討・確認事項

#### (1) 来年度(2025年度)に向けての課題の検討

- ・ 来年度体制案(執行部、各担当他)について  
 理事会案の内容を共有し、次回理事会までに候補者の就任承諾を得る  
 窓口担当については次回理事会にて改めて協議
- ・ 来年度計画案(特にイベント)について  
 イベント素案をベースにして協議を実施  
 秋にワークショップ月間を設ける方向で、キーマンになる方々に意見を伺う  
 手賀沼流域フォーラム共催イベントの要否について、先方意向を確認する  
 上記を踏まえ、次回理事会までにイベント計画案を作成する
- ・ 小学3年生校外学習対応について  
 “ハチ対策”が重要。まずは1/13(月)に小川氏を中心に“ハチ営巣候補地の確認及び処置策の検討”を行い、その後の活動日に処置策の実施及び継続点検を行う  
 “ガイド協力者の拡大”及び“ガイド担当者の都合の悪い日&曜日の事前確認”を4月中に行い、5月以降のガイド運営の円滑化を図る

#### (2) 11/24実施イベント実施結果フォローについて

当日の担当者アンケート結果情報の共有化を実施。その結果を来年度イベント計画に反映させる

#### (3) リーフレットの次回発注について

柏工房の見積りは5,000部で116,930円(税込)。プリントパックだと61,200円程度

⇒ 見積もり価格差が大きいため、プリントパック発注が望まし

い。まずは柏工房に“同社作成リーフレットの修正版の印刷を他社に発注する”ことの詳細を得る

上記了解が得られたならば、修正内容確定後、山口さんに修正作業を発注し、その修正作業終了後にプリントパックに印刷発注する

(4) ユニフォームLサイズの購入について

11月理事会にて「Lサイズ10着購入」と決定したが、その後当該業者に確認したところ購入対象商品は廃番になっていることが判明

別商品の見積もりを取得したが、これも在庫限り廃番になると。そのため、今回フリーサイズ30着を発注することとする

(5) (2/23(日), 3/1(土), 3/16(日))「里山の保全活動体験会」の開催について

広報かしわ2月号への原稿掲載を11/27に公園緑地課に依頼済チラシ及び申し込みフォームの内容や広報活動についての協議を実施

公園緑地課によるチラシ原稿内容確認終了後、500部印刷発注する

(6) 2024年度こんぶくろ池保全活動報告会の準備について

今年度の当番校は千葉大学。まずは千葉大木下先生に日程調整及び開催場所確保の依頼を行う

NPOとしては、保全活動報告会発表資料の作成準備着手要

(7) 1～2月活動計画

情報を共有化した

(8) 1月の通信記事

情報を共有化した

理事会の議事録は管理棟のファイルにて確認できます。

## 新入会員紹介 池田 浩章さん



参加動機：自然環境を維持したい

趣味・好きなこと：ウォーキング、囲碁

取り組んでみたいこと・分野：公園整備

貢献できそうなこと：公園整備、事務、会計、情報処理

ひとこと：少しでも役に立ちたいです